

# 日本音楽知覚認知学会 平成28年度春季研究発表会 プログラム

5月14日(土)

10:00	理事会			
13:00	開会あいさつ			
13:05	セッション1 座長: 稲田環 (九州大学)	◎服部安里(奈良教育大学・教育学部), 豊島久美子(大阪樟蔭女子大学・児童学部), 福井一(奈良教育大学・教育学部)	音楽科教育の生理的・心理的効果の研究 -音楽科の存在価値を求めて-	音楽の授業の効果を生理・心理学的に確かめた。中学生を対象に音楽の授業の前後でVisual Analogue Scale及びCortisol, 17-β Estradiol, Testosteroneを測定した。その結果、音楽の授業が生徒の社会性を高め、ストレスを減少させることが明らかとなった。
13:30		◎小幡哲史(電気通信大学), 木下博(大阪大学)	ヴァイオリン演奏における左手指の押弦力と筋活動	ヴァイオリン演奏におけるビブラートなしでの単音とビブラート演奏での左手指の力と、それにかかわる左上肢の筋活動計測を熟練ヴァイオリニストを対象に行った。ビブラート演奏における特徴的な左手指の力発揮と筋活動について報告する。
13:55		小林佳子(兵庫教育大学大学院連合学校(岡山大学所属)), 小川容子(岡山大学大学院・教育学研究科)	ピアノ初見視奏の演奏時における楽譜上の視線移動	眼球運動測定システムを用いた実験により、ピアノ初見視奏の演奏時における楽譜上の視線移動の仕方を、予見時と比較し明らかにした。実験では、注視箇所を取り入れた楽曲(新曲)を作成し、予見時と演奏時の楽譜上における視線の位置、視線移動の特徴を検討した。
14:20		和田玲子(熊本大学大学院・社会文化科学研究科/広島文化学園大学・学芸学部音楽学科), 久永聡子, 郭霞, 木村博子, 鈴木麻希, 川越敏和, 積山薫(熊本大学・文学部)	楽器演奏訓練が高齢者の認知機能に与える効果について	鍵盤ハーモニカの演奏訓練によって、楽器訓練経験のない高齢者の認知機能を向上させられるかどうかを、ランダム化比較試験によって検証した。3ヶ月の訓練の結果、言語的短期記憶やエピソード記憶の向上が示された。
14:45	休憩			
14:55	セッション2 座長: 蓮尾絵美 (東京電機大学)	◎山本由紀子(飯田女子短期大学・幼児教育学科), 大西仁, 仁科エミ(放送大学・教養学部)	楽音と単純な複合音に対する聴覚的協和感の検討	これまでの聴覚的協和感の推定は、単純な構造の複合音によってされており、楽音のような複雑な音には適用できないとされていた。本研究では、楽音を用いた聴覚的協和感の測定を行い、既存の協和感推定モデルが楽音にどの程度適用できるかを分析した。
15:20		松永理恵(静岡理科大学総合情報学部), 安田利典(早稲田大学大学院教育学研究科), Michelle Johnson-Motoyama (University of Kansas, School of Social Welfare), 杉野佑太(北海道大学大学院文学研究科), 竹下悠哉(北海道大学大学院保健科学院), ハルトノビトヨ(中京大学工学部), 横澤宏一(北海道大学大学院保健科学院), 阿部純一(北海道大学名誉教授)	調性スキーマの文化差: 日本人, 中国人, ベトナム人, インドネシア人, 北米人の比較	音楽文化面においてもグローバル化が進んでいるが、現時点において、諸地域の聞き手は、どのような調性スキーマを有しているのだろうか。本発表では、西洋音楽と非西洋音楽の一つである日本伝統音楽を準備した上で、それらの楽曲を、日本人, 中国人, インドネシア人, ベトナム人, 北米人に聞かせ、西洋音楽に対する調性知覚反応, および、日本伝統音楽に対する調性知覚反応を地域間で比較した実験結果を報告する。
15:45		豊島久美子(大阪樟蔭女子大学・児童学部), 高岸治人(玉川大学・脳科学研究所), 高須一(玉川大学・芸術学部), 森下修次(新潟大学・教育科学系), 小川容子(岡山大学大学院・教育学研究科), 服部安里(奈良教育大学・教育学部), 中村文彦, 藤井貴之(玉川大学・脳科学研究所), 仁科国之(玉川大学・脳科学研究所), 福井一(奈良教育大学・教育学部)	好きな音楽聴取は利他性を増す:パイロットスタディ	音楽の生存価値(進化的な価値)についてはいまだに不明である。我々は、感動をもたらす音楽を聴取することが利他性(向社会性)を高めるということを、経済ゲーム、生化学物質(オキシトシン等)およびfMRIの結果を用いて報告する。

16:10	休憩		
16:20	総会・表彰式		
16:50	ポスターセッション 座長: 三浦雅展 (龍谷大学)	<p>P1 連続音列中に配したリズム逸脱知覚の性別・音楽経験による差異 竹下悠哉(北海道大学大学院保健科学院), 横澤宏一(北海道大学大学院保健科学研究院)</p> <p>P2 オクターブの物理的伸張が音階の知覚に及ぼす影響 銭花亮祐, 中島祥好(九州大学・芸術工学府)</p> <p>P3 演奏しやすさを考慮したアンサンブルのためのバックিং編曲手法の基礎的検討 名原紫織, 安井希子(松江工業高等専門学校), 三浦雅展(龍谷大学)</p> <p>P4 ハイレゾ音源の量子化精度による聴取可能性 ~Waterman法による検討~ 勝呂明央, 三浦雅展(龍谷大学)</p> <p>P5 ピアノ音の長さの知覚 蓮尾絵美(東京電機大学・情報環境学部), 中島祥好(九州大学大学院・芸術工学研究院/応用知覚科学研究センター)</p> <p>P6 音楽再生音の印象と再生系の周波数特性の関係 中西達彦, 岩宮眞一郎(九州大学)</p> <p>P7 ピアノを所有する家庭の社会経済的特徴 生駒 忍(川村学園女子大学)・若林真衣子(東北文化学園大学)</p> <p>16:55~ 趣旨説明・ポスター口頭紹介 17:10~ 偶数番号ポスター発表 17:55~ 奇数番号ポスター発表</p>	
18:40	移動		
18:50	懇親会		

5月15日(日)

9:30	セッション3 座長: 竹下悠哉 (北海道大学)	亀川 徹, 丸井淳史(東京藝術大学・音楽学部)	音の立ち上がり時間と余韻の長さが包まれ感に与える影響	音源の特徴が空間印象に与える影響について、音の立ち上がり時間と余韻の長さが包まれ感に与える影響に着目して調査した。その結果、立ち上がり時間が短く余韻が短い音が包まれ感が高くなる傾向が見られた。
9:55		◎恵谷隆英(東京藝術大学大学院・音楽研究科), 河瀬 諭(相愛大学), 丸井淳史(東京藝術大学・音楽学部)	ドラムパターンにおけるグルーブを喚起する最適なテンポ	ドラムパターンを刺激とした聴取実験を行い、グルーブを喚起する最適なテンポを検討した。結果、(1)グルーブを喚起する最適なテンポが存在すること、(2)リズムパターンによって最適なテンポが異なることが示された。
10:20		星野悦子(上野学園大学・音楽学部)	若い芸術家たちの日常的音楽聴取とパーソナリティ: 音大生と美大生の比較	音大生76名と美大生100名の日常的音楽聴取とパーソナリティ(Big 5)について調査し、比較した。Big5検査では美大生は神経質傾向と開放性で音大生より高く、音大生では調和性がより高かった。判別分析によって両群の背景音楽利用とパーソナリティとの関連性が見出された。
10:45		◎寺田知世, 三雲真理子(梅花女子大学大学院・現代人間学研究科)	自分のためのテーマソングについての探索的研究	自分のためのテーマソングを好む理由を調査した結果、感情のコントロールができること、好みの音楽であること、思い出と結びついた音楽であること、音楽からメッセージを受け取れることの4つに大きく分類された。
11:10	休憩			

11:20	セッション4 座長: 田部井賢一(三重大学)	長嶋洋一(静岡文化芸術大学大学院・デザイン研究科)	脳波バンド“MUSE”による心理計測の可能性について	メンタルエクササイズのために開発された脳波センシング・ヘッドバンド“MUSE”について報告する。脳波楽器としては問題があるものの、加速度センサによる首振りセンシング、そしてアーティファクトを表情筋/外眼筋センサとして活用することで、表情や心理状態のセンサとして活用できる可能性について報告する。
11:45		出口幸子(近畿大学・工学部)	音楽演奏システムのユーザインタフェースに関する基礎研究	タブレットPC上に3通りのUIの音楽演奏システムを作成し、各UIに対する楽譜を作成した。楽器演奏経験の少ない被験者16名に対し、楽譜を見ての演奏、および演奏と歌唱について評価してもらった。システムの概要および評価実験について報告する。
12:10		稲田 環(九州大学大学院・芸術工学府), 林 祥子(NHKメディアテクノロジー), 岩宮眞一郎(九州大学大学院・芸術工学研究院)	映像作品における台詞終わりに付加する音楽の最適付加時点-リアクション表情の影響-	映画などの映像作品において、台詞終わりに映像が話者から受け手に切り替わった後に音楽を付加する場合、リアクション表情が音楽の最適付加時点に及ぼす影響を印象評定実験に基づき検証した。
12:35		閉会あいさつ		

講演時間: 発表18分, 質疑応答5分, 交代2分

◎は, 日本音楽知覚認知学会研究選奨選考対象者を示しています。

終了後、昼休みをはさんで、大橋キャンパスめぐりを開催します(13:30~15:00)。引き続きご参加ください。

- ・無響室
- ・音場再現のデモ
- ・聴能形成のデモ
- ・音声研究の解説
- ・脳波測定装置の紹介